

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32



甲陽軍鑑全集 卷十二

金匱要略

- 一 沙門雲建立自民矣信去不相之章
- 二 信義云并以之勿多江進物之章
- 三 草药錄不辛之章
- 四 繩代君子自代末小和朕不相而為長治其
- 五 普濟之云并作去矣例之章
- 六 垂之沒廢無川之深之摘毫之章
- 七 佐玄渡列佐至之章
- 八 民舉佐玄使名姓不於八嘴平少東武田

ヶ

島陳アシマツ乃陽子柄ハセ

白吉才一二卷

八 信玄甲冑海陳カミツ氏康波汗仁至ヒタチ之幸

九 犬養イヌヨウ引多河今川波汗貞合マサヒロ氏美船ヒタチ之小田
永山通ヨシヤマトシ三浦志惠ミツウラシエ波津草

十 代玄義タケミヨシ波津拂草ハツカス八幡玉雲蘿ヒガタコウモリ小旗波不

弓アキラ也草

十一

圓東發カクドウハツ小田西中波拂草ハツカス弓鷹ヒタチタカ也波美

井小山御書カミツ之幸

十二

三味湯ミツミヨウ元治月食我エタキ之幸小田東洋拂草

十三 代玄相波宣タケミコマツ波津拂草ハツカス月水ツキミズの幸

十四 代玄相波宣タケミコマツ波津拂草ハツカス月水ツキミズの幸

十五 佐渡サトウ之幸又獨孤アシガ并南面謀攻之幸
吉蘆接ヨシロク山一揆イチゲイ自恩ジエン於波波有拂波ハツカス拂草
十六 佐渡波謀攻自理之物落書アシガ并南面明近ミンジン、
大波浦方使アシガ南面ミンジン之幸

甲陽軍鑑全編卷十二 爰義之考

第一

時沙門雲達ちに來て不和之事
承祿十一年春。二月始より。至良義院。印教と合
ふり。と。沙門。使と。薦地も。門。行きて。捨波革。が。す
捨。捨。を。沙門。達。て。思ひの。雲。達。す。同。有
後。府へ。使の。ら。じ。ハ。松平。翁。人。く。す。奥。う。室
の。も。來。て。今川の。敗。と。ま。され。元。康。の。え。代。を。引。
鴨。川。三。河。も。あ。康。と。あ。る。大。あ。三。河。と。代。を。め。る。よ
り。及。ひ。お。の。内。お。三。河。と。もの。も。よ。そ。き。活。も。ん。り。
梨。り。ぬ。り。の。ア。特。別。候。祭。も。り。傳。も。う。不。ト。
ひ。る。以。算。義。之。の。付。食。義。の。別。を。加。勢。よ。ふ。あ。る。も。

中。を。す。と。修。ま。る。か。ゆ。ど。本。く。小。を。の。よ。在。れ。る。原
ハ。久。も。父。の。予。食。義。り。或。田。と。れ。水。み。ど。同。別。と。ア。食。を。
一。夏。義。院。と。ひ。お。ま。と。付。さ。ぐ。べ。く。ひ。付。ま。は。は。は。は。母
御。志。ト。成。す。あ。す。し。に。ひ。と。歌。ま。い。と。ん。ド。ひ。又。お。の
の。事。義。人。ふ。か。ま。と。ど。と。お。が。く。ひ。お。康。小。御。の
た。れ。ど。と。明。正。中。や。正。治。の。す。と。易。ひ。往。ま。り。ト
て。ね。を。收。ま。と。も。と。多く。ひ。と。せ。ば。今。川。あ。め。を。ひ
室。あ。れ。つ。せ。わ。で。り。と。省。又。辟。さ。う。す。と。と。れ。ひ。と。そ
元。も。と。行。と。ね。ば。不。調。保。の。に。そ。う。一。と。ん。と。と。れ。つ。る。
寔。は。の。む。う。際。の。も。と。あ。り。れ。書。れ。の。九。う。と。と。筆。を。蓋
を。き。げ。と。あ。人。母。の。復。あ。野。添。平。と。之。と。行。ま。並。
治。と。安。之。機。の。義。人。と。と。と。と。と。甲。翁。と。て。嘆。殊。抱。十

挺。甲列ももとて。お綿布二百疋。うね。二の山ふの。別。す
とくひ紙。よみ。あく。す。あはる。お壁。とは。お。謀代
せ。めひ。そ。ばま。お。紙。を。ま。下。え。ろ。ぬ。紙。と。お
う。り。綿。か。う。お。絹。と。川。武。田。不。和。成。儀。又。た。玄。ひ。を。
お。の。ら。後。友。町。人。百姓。あ。え。し。り。約。行。き。わ。の。び。
あ。く。く。あ。へ。ろ。を。計。機。い。さ。う。り。く。じ。ま。お。一。あ
の。お。ひ。ん。三。湯。右。湯。つ。と。今。川。あ。ひ。ん。お。小。身。を。あ。く。そ。り
飽。果。ん。く。し。お。あ。く。く。が。そ。で。く。れ。ま。わ。と。の。湯。右
湯。が。ゆ。の。茶。の。湯。う。ま。く。と。茶。碗。一つ。と。三。ま。だ。う。茶。ま
茶。花。水。耽。ハ。綴。と。三。浦。が。う。と。と。と。と。

第二。一位。長。云。并。激。之。从。役。合。進。む。の。年。

永。祿。大。展。毛。六。月。上。旬。又。併。別。役。四。の。職。代。林。山。綱。督。と。

お。便。と。お。湯。政。早。の。行。長。云。並。激。之。從。役。四。の。職。代。林。山。綱。督。と。
一。次。は。毛。羽。の。幅。幅。三。み。下。一。深。　　お。御。
一。総。の。は。　　お。牧。　　一。冲。　　ナ。セ。門。一。と。六。
國。東。宇。那。又。役。一。毛。羽。の。恩。下。紙。モ。也。
お。青。司。職。之。役。入。ハ。洋。行。者。被。ひ。く。と。
一人。安。左。の。脚。脚。一。義。度。の。役。脚。　　一。行。　　お。斧。
一。綿。　　お。抱。　　一。出。る。十。と。九。一。正。ハ。金。庫。見。も。お
も。也。伝。も。お。ね。ひと。池。見。も。ゼ。又。三。代。油。娘。華。初。日。よ。ハ。て。お
出。面。あ。で。交。う。り。お。り。も。お。日。日。よ。梅。あ。る。ま。お。緑。と。お
月。月。月。お。は。役。足。の。ひ。と。精。通。代。農。精。と。ほ。と。お。役。者。の
ア。も。お。と。傳。も。お。ひ。く。り。て。と。と。お。緑。の。魚。上。中。下
と。油。筋。ト。ド。と。お。五。に。横。と。お。れ。軍。身。お。う。ひ。縫。者。ち。る。七。

月初より久留治村より上る。日七月上旬。代長ふらひたまひへ
入城のを知れ。陸に下りて記念など出でん。八疋あわゆ
みやび儀をそぞく也。

第三 单箭縄ふされ事

同月八月甲冑してひがみを拂くある中よ草とよどふ
候は。邊とよれば先しよも。し。酒と車もよると。お義
あ義アトレド。住む云す。お士士だ。意みて。お義の能と
實の能と。坐も坐そりと。て。客見義樂。み計おひめ
きほ。お國の久留治家風の。とくせ。とくを。忍波の。
まつを。義者。三席。座の。氣り。と。酒を。馬。よ。壁。と。お
食り。上。お。お。み。け。く。旅館。よ。た。い。そ。と。よ。人。く。う。今。今
川。あ。え。る。お。酒。お。お。教。お。き。と。く。お。奈。川。流。の。ま。お

と。と。空。と。と。廢。と。う。廢。よ。か。と。車。の。年。と。り。あ。と。と。家。
の。吊。食。義。あ。と。う。と。義。樂。と。と。う。と。吊。短。兵。の
洋。平。と。ひ。と。き。

ひ。里。に。強。と。ち。人の。あ。と。と。吊。短。兵。の。年。と。り。あ。と。と。家。
の。賤。の。う。と。肩。と。あ。う。と。と。う。と。や。よ。照。せ。と。六。の。月
中。月。と。と。う。よ。行。と。と。う。と。と。よ。行。と。と。う。と。と。う。と。と。う。と。
と。う。と。不。柔。固。と。と。う。第。へ。と。と。う。と。と。う。と。と。う。と。
と。と。う。と。と。う。と。と。う。と。と。う。と。と。う。と。と。う。と。と。う。と。
と。と。う。と。と。う。と。と。う。と。と。う。と。と。う。と。と。う。と。と。う。と。
和。室。と。通。旅。者。が。み。お。旅。者。み。お。腰。不。調。調。と。日。長。宿
城。考。旅。者。と。車。并。旅。者。と。美。例。と。と。
長。尾。鷹。虎。の。お。光。游。と。と。村。と。と。旅。者。と。と。旅。者。の。伝
去。と。歌。の。民。事。と。と。食。と。と。九。歲。と。と。と。と。と。と。と。

のを爲すものといふ。今も人修復を圖が如く。琴等の所持
向むしの儀と謂ふ。そ。永禄十二年の事中。近役小田
原家事御。氏康等を義国の主恩高と謹候養のめりひ。
東尾と名をあらわ。也。近役らど甲冑の身をもと呼ぶ
との義作へらる。後まわれをす。越尾も。事ゆ。のと
つむ。御見取ひよ。がままで。無う。被りて
世との事。も。とある。よ。越尾の鶴も。かと寛られ。のと
も。ありて。より。ば。あ。御。事。あ。り。く。は。去。年。も。高。さ。る。と。思
ふ。角翁へ。貧。き。と。い。て。化。念。う。入。魂。一。経。も。後。ま。徳
黙。う。ま。と。い。て。活。け。と。も。く。は。ち。を。も。よ。後。列。岩。村。田。の。徳
奥。わ。あ。と。い。ふ。羽。あ。傍。流。の。綾。越。う。と。謹。伝。乞。と。す。徳。ま。ち
を。す。と。潤。い。不。可。と。れ。と。ば。恭。下。の。や。う。と。お。す。公。徳。ま。ち

と。い。ま。の。破。き。ひ。の。金。と。腰。と。先。と。筋。身。事。活。中。隣。傳。小。九
と。あ。ん。形。と。舞。と。住。物。あ。の。か。も。と。百。費。う。不。外。と。下。され。回。四
戸。傳。う。も。あ。と。行。食。れ。ま。と。別。共。身。の。が。り。と。豪。代
と。徳。と。宣。と。ふ。然。の。遼。尾。が。れ。後。徳。と。之。年。度。の。有。出。費
の。是。持。た。る。萬。角。梅。京。永。年。通。の。人。故。城。代。と。移。也。す。同。嘉
月。作。玄。ウ。は。ま。御。ア。と。板。板。御。歌。歌。ト。九。び。友。ハ。追。村。い。づ。ふ
く。も。今。く。と。も。一。事。と。中。少。獨。力。而。从。う。い。ほ。く。い。ふ。歌
興。安。と。呼。ト。一。人。少。生。自。主。じ。と。ア。シ。歌。す。首。中。と。歌。筆
第。次。又。良。良。役。高。掛。川。の。歌。捕。轟。ア。

永禄十二年。三月六日辰の刻。去。云。甲。翁。と。出。下。山
道。と。方。押。路。引。へ。伊。多。内。日。月。十二。六。中。升。八。宿。役。の
石。長。役。と。寺。内。ア。ズ。ミ。と。云。西。あり。又。宿。役。の。勞。ハ。度。往。ア。

彦承の入百のノ役と内侍固しへ憲率又爲多者奉公の倉
内勤助。又人をあわすて。内侍の十八人をも。或爲多の物
其處。或そひに於てハ活人らにゆるとも。うて。日氏内。今
川。て。三城は。清人をも。山の源す。れ。清。今内
の教教。先教。合せ。以。武有野。三帝の。事。一め。ま。と
て。え。而。不。レ。レ。御。う。レ。レ。民。と。今。二。瀬。通。
連。わ。り。法。ゆ。レ。レ。御。も。う。レ。レ。通。事。代。玄。通。御。と。不。そ
法。人。怪。ひ。氣。云。乃。教。代。モ。通。の。と。く。ま。も。ち。吉。
陽。す。り。と。ち。の。女。一。以。良。主。と。あ。く。み。ま。教。有。レ。レ。い。る。よ。さ。
八。橋。平。れ。ん。ぐ。五。教。一。也。も。そ。ぞ。う。り。と。一。教。叶。く。それ。か。そ
前。事。の。五。教。合。き。よ。前。の。一。教。教。素。共。樂。の。支。由。珠。座。不。共
圓。坐。裏。ア。リ。一。教。教。一。也。も。清。思。ア。思。事。小。金。内。勧。助。教

人。而。て。教。事。あ。れ。と。て。も。清。近。教。と。ア。兵。去。公。行。の。事。
ハ。その。事。あ。人。を。あ。ま。教。事。あ。清。近。教。と。又。日。東。の。蒙。被。内。人
教。教。と。う。れ。と。引。合。と。清。事。を。教。事。あ。は。事。沐。と。さ。は。英
の。事。と。六。度。と。内。事。と。下。事。が。文。と。清。教。合。と。考。ト。セ
ら。も。氣。と。深。と。三。浦。事。も。高。仰。代。行。内。教。事。と。修。事。と。モ。
先。の。事。と。不。教。事。と。ア。人。被。事。と。四。之。を。乞。モ。と。也。極。至。
知。セ。と。云。す。も。や。教。事。と。も。と。立。て。の。行。事。と。極。不。う。教。事。
先。事。出。綠。う。萬。内。友。少。山。田。共。來。對。小。傳。上。公。事。田。綠。事。左。事。
七。次。内。底。と。延。事。八。家。と。旅。事。ア。而。ふ。今。川。乃。陸。下。は。清。事。
教。事。の。事。
怖。と。わ。る。と。も。少。内。傳。か。り。と。分。傳。事。洋。教。と。物。免。内
山。か。へ。考。事。少。事。少。事。少。事。少。事。少。事。少。事。少。事。少。事。少。事。

乃ちお給付せ。れんの候は。報人より絶賛ナ三日又ば歎と驚
拂ひき。又山あたはる。たびにゆく。今川家。只柔切もの。お先小原
肥。おもての法の。え。長野。おもてを。も。おもてを。子を。おもてを。
御内様も。小笠原城。約定と。おもてを。さす。おもてを。金子。おもてを。
合人ひ。おもてを。川。おもてを。約定。案。傳。下。小原口意の。こゝかの。右傳入
ます。セ。や。お人。ほ。父。あ。あ。お。と。入。へ。お。お。墨。の。く
御。お。お。浦。通。公。月。結。人。お。年。六。真。押。と。生。一

第6 佐吉と駿河に仕至れ事

佐吉と駿河に。駿河有志。名元。先日ハ八箇。萬石。の。案。
内爲。主。て。陈。と。張。也。民。大。無。川。蒼。桂。主。の。山。家。主。と。も。
お。田。系。主。り。助。り。と。お。合。桂。内。川。御。女。一。次。内。無。に。う。ゆ。と。鈴。の
人。駿。と。九。甲。主。今。一。う。と。人。ハ。駿。主。と。田。列。下。と。う。し。仙。つ

の。駿。主。御。事。桂。主。作。付。室。山。御。主。と。う。と。ハ。沖。は。櫻。
ふ。ト。山。と。知。行。カ。タ。知。る。と。又。廣。原。御。事。主。と。云。仰。不。自。う。れ。ち
武。主。と。主。も。主。今。川。家。と。そ。人の。お。と。う。の。主。と。主。勤。公。よ。
わ。と。想。く。と。
駿。主。勢。と。せ。り。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
久。徳。と。ア。山。う。駿。地。お。と。ド。人。お。と。日。お。と。ダ。あ。と。と。と。と。と。
勤。公。主。地。と。主。人の。内。お。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
わ。と。う。駿。地。お。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
駿。の。人。將。と。駿。主。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
主。ま。の。主。と。
あ。主。と。駿。主。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
（ア。

あと勤めりて作り。初志列へ。後列傳あり。且と林伯
育押て二條のも入物也。三色ひあらむ。もれ乾の處を立
まに右邊。西邊よりの事は又別墨跡の處。半分より人
秋多め。あるゆきを承うしては御とし合せたり。人數と
機して是外へや。夏深終焉。二人題も成たゞ。
玉。自外より山林とす所なる所を度まばとす。木々
川底より源より山林とす所なる所を度まばとす。木々
八後村と源流をもむる方針とく。大井川とさりて。新川
家原より源流をもむるべく。新川より後河より
主ひ人賃ね半源をあと。次と餘を過すてるとひ多強去云へ。而
捕ひゆくもとす。新川より源流をもむる。新川の城よりしまま
被官事列や。家筋の人勞力とて多くて。伯耆ちとす。

後政よりもとまき移転也。林山難共ニよけ乃小ノ移転より九姓
主全義が東みハ舞川へ。元結民兵も移転ハ多ミ。舞川の小笠原
間並して。ア合ひゆく。也。後志の後河より源流を
かと移石移は。小笠原兵主が東より用男をれど。小笠原も
佛さむ。すまきの由起也。

第7 民衆は支使を擧業。其六惣半小笠原の封陳
チ 五陽より始也。

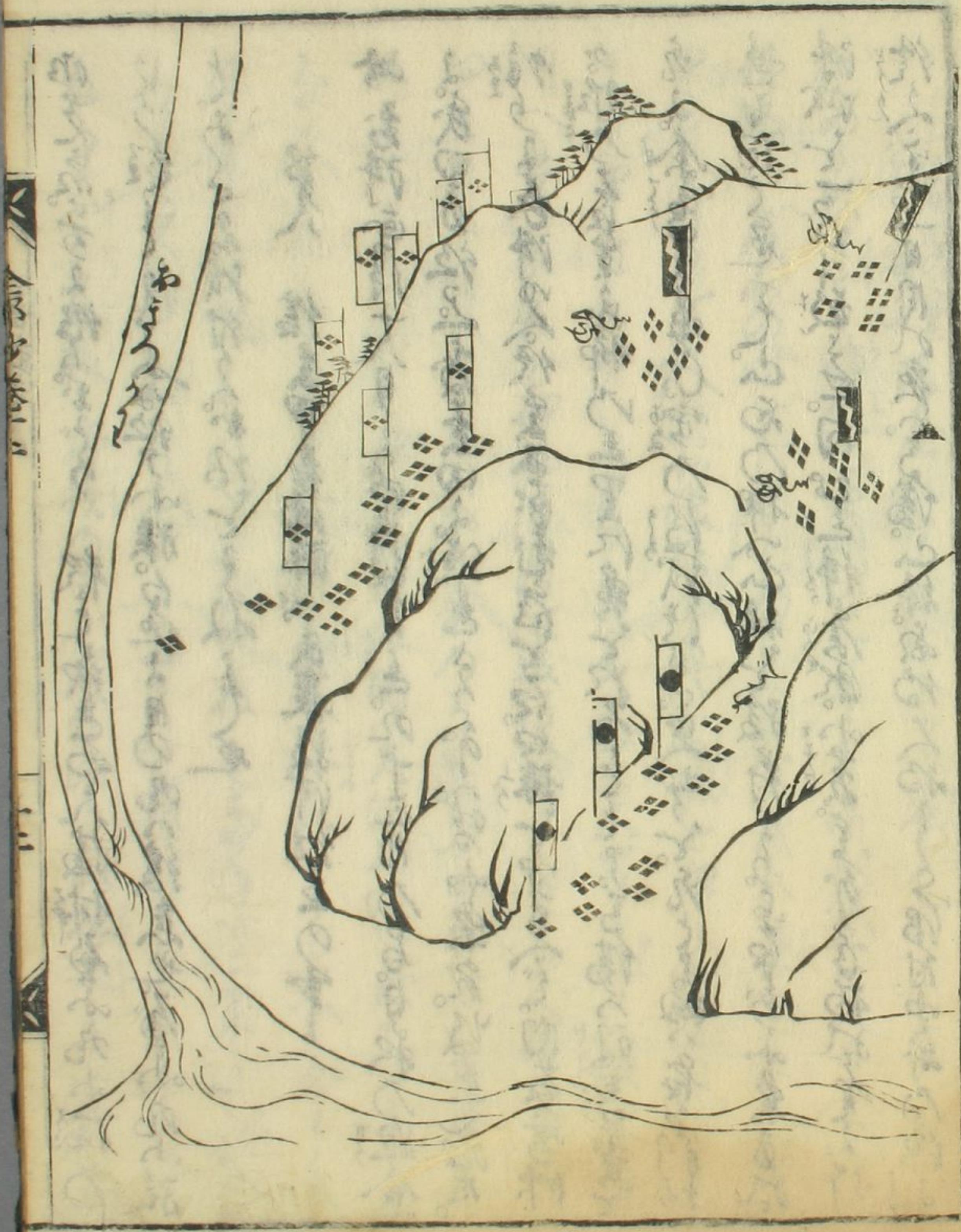
跋河内。代次爾尔。山あく。渓と源流云ゆ。日遅不候。ア
不當也。但少しあき。向ひ。仕列。跋河の法教園。东より移され
故。子食と。諸人全福。一もやうれど。は。も。食て。又取。若
も。ふかひ。海を定めて。まよす。そで。まよ。或田乃法。人
批判。も。か。水深。十二年五月五日。小笠原民衆。ちとす。

後方行者達のへまて。日上昇。民衆を制する事。此の後
所為は多事也。と。立派然。毎月十日。往まよし。は。此の後
御南菴ミツマツと。山便。小。四年。へ。逃アキ。と。侵。軍の。か。あ。へ。逃アキ。と。逃
入。正月。ふ。月。大。日。文。獻。文。政。文。元。宣。方。み。の。人。数。と。民
兵。と。後。向。い。と。乃。も。あ。除。也。と。之。ハ。產。陸。ハ。八。精。平。中
井。敵。至。ま。で。先。侵。ひ。た。ま。と。は。淮。と。中。る。山。條。ふ。百。九
一。橋。と。山。而。押。へ。つ。あ。後。有。て。淮。至。方。ハ。み。全。九。人。救。て。與
淮。の。更。す。皆。古。弱。附。也。以。八。正。月。來。れ。る。れ。を。淮。用。づ。く。嘗。缺
來。れ。た。ま。と。淮。と。漫。難。一。行。去。と。淮。中。る。は。は。被。修。付
復。行。の。浦。と。寧。と。新。た。乃。る。は。り。よ。く。物。こ。そ。せ。ぢ。ち
金。參。ひ。と。あ。利。め。と。の。浦。と。寧。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。
中。小。オ。ナ。下。大。不。急。強。勢。淮。浦。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。

て。立。派。然。外。と。向。之。も。溫。也。と。ア。リ。ホ。モ。ト。モ。之。の。を。も。
往。玄。ム。宣。よ。浦。と。寧。牛。地。よ。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。
と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。
觀。寒。と。淮。は。白。鷺。民。康。底。武。功。ハ。糧。危。と。ナ。八。月。度。食。と。淮。
淮。底。と。小。田。余。稻。主。ざ。れ。ハ。一。年。と。一。年。と。淮。と。淮。と。淮。
て。さ。の。ミ。永。ち。洋。と。ア。リ。シ。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。
と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。
是。事。欲。よ。あ。ま。れ。モ。浦。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。
内。よ。え。れ。浦。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。
と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。
人。も。そ。と。あ。努。ハ。皆。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。
と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。と。淮。

のとまほ自ら也ての連合に修ま候る爲人約二三十り。すと
國を出て其辺へ上りよひの足候連合せ次第修業
也是種事にさう場所が山田大場原隼人ふじの宿する
ら夫婦のものとくゆくゆ勤めまつを張よけらう。二町
並木上鉢合ひ連合の本懶居てお捕らへもやうやく漁はれ
付を。江戸三百強のノ姓と云ふ。不許はり。東百勝計と爲
と御松アラ。信玄公内友うちゆき。あ人なる。あれと重て名
後が四百八の二へ。魏に魏に。御とちくらや。名法乃や。行
や。のまつて理伏て仕事も不善を憲び。まつり魏と
精元ひも。汝はは實をもや。のりと。行舟と今と重慶むり。
謀の底深重。人狹財窮。早と引退る傷百勝ぬ。三
毛を。三毛と。十勝計と。押立。アダム人海逃れ。船難

むく。水の波と。龍雲。湯水。雅樂。二百強計。櫻と。わ。娘
毛と。そ。波と。水。今年。内。軍。湯。報。奉。と。二百計。大。櫻。抱。符
と。立。櫻。抱。符。と。立。櫻。抱。符。と。立。櫻。抱。符。と。立。櫻。抱。符。
と。進。櫻。抱。符。と。立。櫻。抱。符。と。立。櫻。抱。符。と。立。櫻。抱。符。と。立。櫻。抱。符。
毛と。人。教。と。立。ら。し。セナニ。須。と。櫻。毛。ち。よ。身。康。う。女。湯。報
長。また。百。三十。の。だ。櫻。抱。符。と。立。櫻。抱。符。と。立。櫻。抱。符。
と。立。櫻。抱。符。と。立。櫻。抱。符。と。立。櫻。抱。符。と。立。櫻。抱。符。
と。立。櫻。抱。符。と。立。櫻。抱。符。と。立。櫻。抱。符。と。立。櫻。抱。符。
と。立。櫻。抱。符。と。立。櫻。抱。符。と。立。櫻。抱。符。と。立。櫻。抱。符。
と。立。櫻。抱。符。と。立。櫻。抱。符。と。立。櫻。抱。符。と。立。櫻。抱。符。

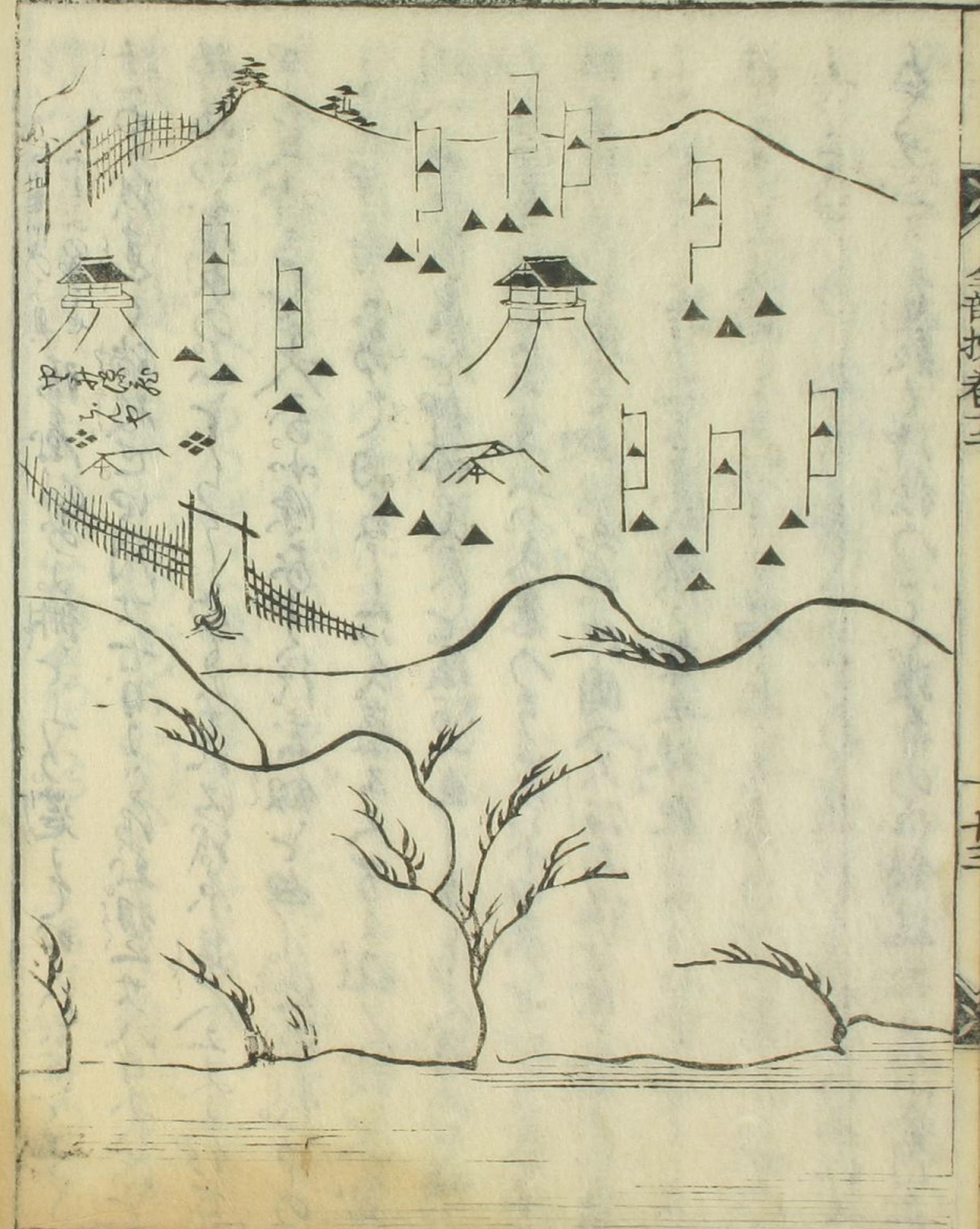


内之宿。ちよほりおどり。松毛をもやん。猿林。金丸の櫻。乃
う。種。と。う。ふ。の。江。ア。小。猿。白。地。と。月。の。丸。の。後。魚。也。金。ふ。丸。小。猿
と。あ。く。名。付。く。お。ひ。と。そ。ね。ま。せ。

第八 信玄甲冑陳付民康致汗仕主の事

此。高。津。而。厚。大。肩。も。宣。月。廿。日。と。九。十三。日。入。る。日。水。の。直。合
よ。武。田。水。江。又。一。度。去。因。よ。遙。き。と。う。か。へ。は。か。余。れ。收。ま。し。撃。
銃。り。よ。長。津。の。候。ま。み。奉。む。と。る。口。據。と。守。ま。ぐ。山。山。安。勝。勝
が。服。の。を。生。み。勝。の。三。里。に。多。と。れ。と。と。P。も。傷。の。烈。も。う。害。と
あ。る。余。多。よ。達。ひ。宮。の。治。代。は。と。只。お。と。と。元。と。ア。極。ハ。名。う。門。の
と。と。向。て。通。と。と。ひ。る。ア。押。ハ。縁。と。弦。弓。と。弓。矢。が。ふ。集。あ。れ。
津。城。と。一。町。敵。を。向。び。三。神。參。獻。か。義。主。か。と。相。が。を。是。よ。洋
陸。之。下。上。一。日。周。れ。夜。べ。う。傷。山。猿。あ。均。人。ぬ。り。と。即。付。中。井。の。鴻。三。

八。重。の。御。也。附。記。の。見。附。記。の。見。附。記。の。見。附。記。の。見。附。記。の。見。
往。の。う。休。意。く。瑞。被。也。四。月。廿。七。日。と。じ。復。出。留。三。日。八。日。小。猿。
御。路。の。高。木。の。と。と。う。う。ら。も。と。見。不。深。木。集。二。丈。と。仰。也
甲。冑。赤。と。火。把。火。除。あ。と。行。玄。鉄。と。仰。逆。ひ。れ。さ。の
ま。も。也。里。十。村。え。あ。て。因。着。ア。し。の。民。康。ふ。人。方。よ。な。ノ。鉄。と。金。金
川。一。年。す。家。康。と。仰。拂。氏。も。と。後。河。一。坐。一。坐。人。修。ひ。と。梅。ハ
ゆ。も。と。家。康。と。玄。宣。ア。ハ。民。康。フ。う。も。金。四。聚。と。出。て。民。康
終。と。終。も。ハ。佛。と。與。り。也。也。他。國。ア。人。行。人。故。と。逃。て。也。も。金
聚。ふ。人。よ。化。と。ま。と。す。恩。ハ。祭。ア。祭。也。娘。死。う。り。と。ソ。金。聚。と。云
ゆ。わ。き。も。改。も。れ。や。う。思。と。ね。も。あ。も。セ。二。聚。と。欲。り
あ。も。と。も。の。ね。も。ち。あ。く。と。よ。る。も。後。河。と。モ。小。聚。の。お。と
も。も。ふ。う。有。聚。ア。御。被。つ。ご。と。波。舟。の。内。被。被。波。舟。ア。小。聚。在



今川馬の聖通。義永一軍。而井松の物。小長井。うだ人。
びや。小早も。並の志と宣ひ。主。義永。人。主。祐。殿。殿。おとん
の。吉良の奥。主。吉良の傳。く。小糸の傳代。と。義永。文慶
み。おとて。御陣の。氏美。よ。道。と。主。と。一。義奥。と。也

井丸。於毛利。黒川。今川。と。連。の。直。合。毛。氏。美。兵。と。小。黒。

近。す。并。三。浦。右。浦。の。被。休。半。

今川。馬。の。十八。人。衆。と。毛。氏。美。兵。の。約。の中。と。墨。ア。太。朱。市。山。柳。
と。毛。氏。美。兵。勝。軍。約。甲。兵。指。述。ひ。主。内。向。毛。氏。美。兵。
主。山。より。て。正。月。廿。二。日。油。川。夜。は。久。討。死。の。元。

一。佐。藤。氏。長。兵。と。 畠。傍。方。役。不。討。

一。毛。母。波。と。

墨。傍。兵。久。保。次。重。つ。討。

一。日。羽。野。小。吉。と。

墨。傍。兵。久。保。次。重。不。而。絕。討。

一人。百。七十。弔。と。 畠。傍。毛。野。野。若。兵。討。

又。三。月。廿。三。日。川。而。高。よ。お。か。と。

一。佐。藤。氏。長。兵。と。

毛。氏。美。兵。中。毛。毛。兵。討。

一。佐。藤。氏。長。兵。と。

墨。傍。毛。野。野。若。兵。討。

一。毛。母。波。と。

墨。傍。毛。野。野。若。兵。討。

一。毛。母。波。と。

墨。傍。毛。野。野。若。兵。討。

一。毛。母。波。と。

墨。傍。毛。野。野。若。兵。討。

一。毛。母。波。と。

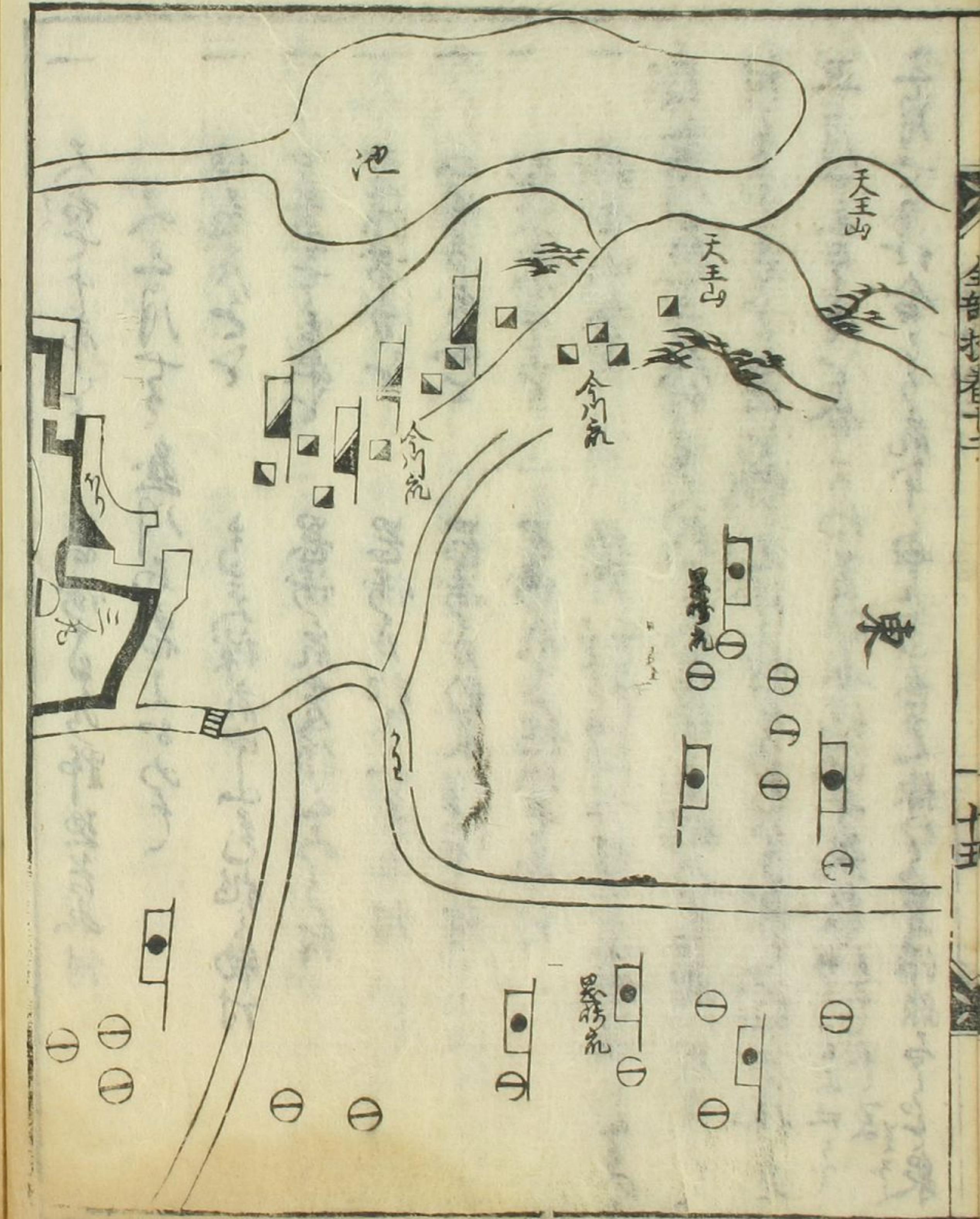
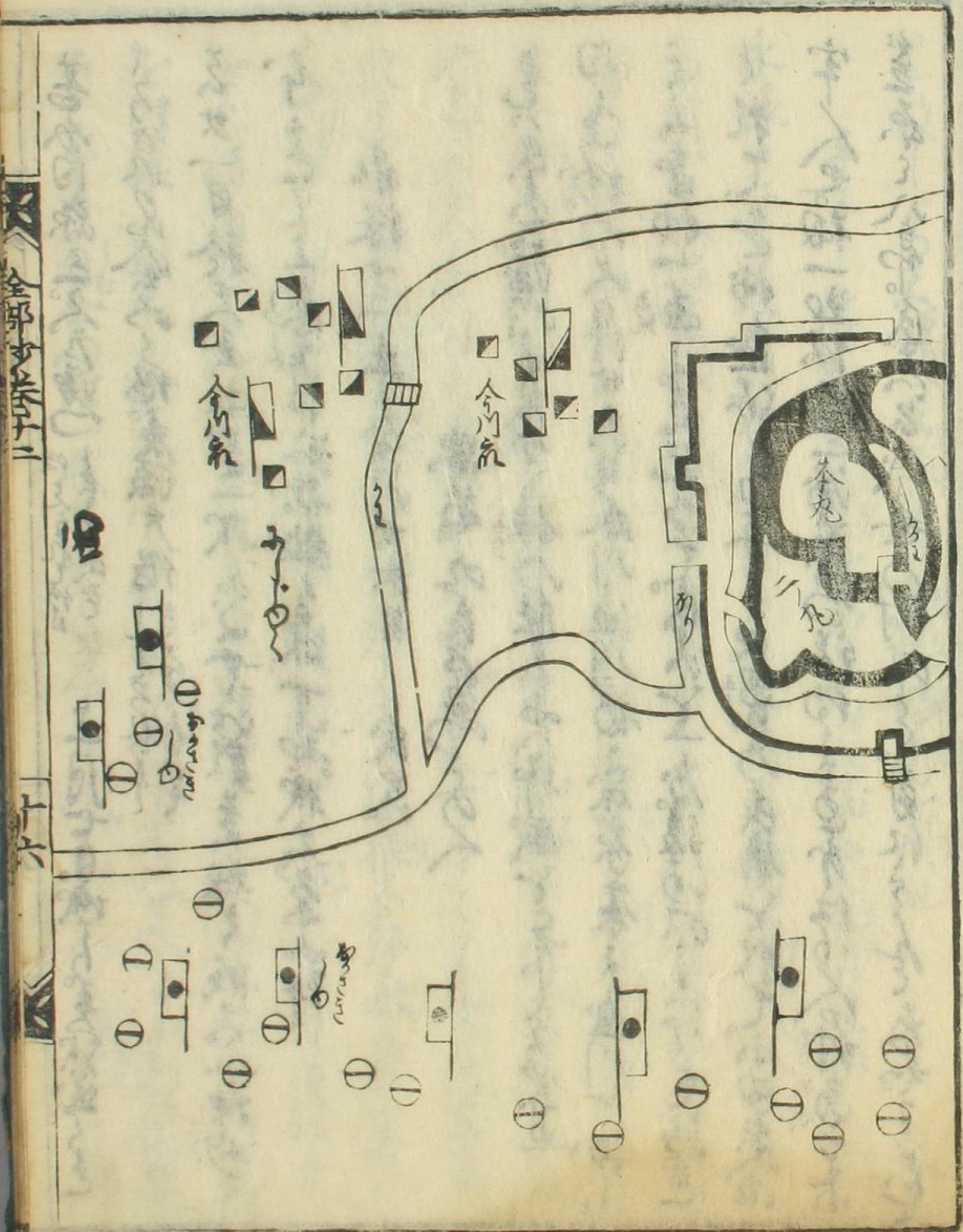
墨。傍。毛。野。野。若。兵。討。

一。毛。母。波。と。

墨。傍。毛。野。野。若。兵。討。

一。毛。母。波。と。

墨。傍。毛。野。野。若。兵。討。



高野山縁三ノ門を過つて高野山へ 二月七日 晴り

こうの山の食ひはぬ。高野山宿 戻るもうなれば
云々。一日於天王山寺一宿。又天王寺を廻る。以神門
午後山上にて加賀助多源丁地城在。象山界

承徳十二年正月十六日 民友

家萬内見集めより

乞ひ度る。漣川より。かくも旅の愁不也。津感と下る字也。
曰。度。初の六月廿六日。今川。漣川。板取。家康。漣川。中。
主上。吉松。一義。又紀。主。臣。主。と。度。漣川。にて。度。
とれて。を抄。魚。通し。舟。石。蜀。乃。良康。と。れ。小田。水。
守人。也。板。一。以。乃。三。湯。在。湯。行。御。も。か。け。り。人。窮。あ。つ。ボ
笠。水。八。部。天。主。代。世。乃。阿。ハ。と。則。に。之。合。も。か。ま。ま。

乙歎。一。高天津。至。此。と。揚。袖。絶。角。と。伐。也。

才十。往。去。高。室。迄。被。拂。の。月。八。憲。不。養。蘆。小。旅。宿。と。寄。る。
承徳十二年正月二日。佐。ま。又。里。前。と。市。立。高。河。富。士。久。丈。仰。仰。
る。休。が。う。門。有。範。勝。下。の。も。公。う。と。よ。レ。バ。少。素。家。乃。人。殿
舎。と。さ。み。を。そ。並。し。や。ま。も。少。懶。志。く。撫。拂。同。屏。そ。
又。三。船。と。篠。川。う。り。篠。玉。水。殊。と。丸。ま。一。脚。油。す。り。京。隼。の。流
の。上。あ。え。心。付。わ。り。油。す。り。ハ。油。を。魚。一。ま。と。ト。う。代。玄。み。
は。と。そ。下。れ。深。と。被。あ。と。ね。不。被。と。も。心。根。少。付。今。度。八。重。
ふ。う。し。は。経。易。ひ。少。油。と。も。じ。う。す。と。度。ま。と。屏。京。隼。中。
と。木。舟。川。中。と。序。陳。と。え。う。一。度。乃。ア。よ。人。乃。お。経。易。万。奥。
ふ。と。お。有。無。ア。而。一。度。て。木。舟。川。中。と。序。陳。と。え。う。一。度。乃。ア。よ。人。乃。お。経。易。万。奥。

勧すに相ふと。殊。あ生てまへむ。かう。を。第。次。辟。多。ハ。う。る。よ。る。
名。ド。し。も。後。漢。小。田。東。中。燒。拂。の。有。場。と。あ。ま。り。
捨。ら。す。お。逃。が。な。く。し。は。徳。來。や。れ。お。美。ア。ト。も。被。き。ざ。う。と。の。ゆ。の
み。て。進。ひ。と。小。田。東。中。燒。拂。の。有。場。内。食。乃。は。名。も。あ。ふ。そ。か。象
象。乃。強。勢。八。幡。大。主。の。蘆。の。小。孩。彼。よ。う。き。く。る。代。先。あ。げ。に。金
錢。も。擰。て。役。軍。也。と。え。こ。そ。れ。だ。う。第。切。あ。ざ。と。さ。う。る。そ。
住。ま。あ。む。ア。ト。一。微。ち。寂。と。も。あ。あ。ぬ。お。乃。城。二。つ。と。つ。も。參。く。ま。
き。と。許。懲。して。庵。系。大。主。の。神。田。畠。布。多く。の。う。官。酒。も。與。意
ち。も。窟。蓮。ひ。く。す。新。陳。活。灰。ナ。ナ。不。修。乃。城。よ。く。み。て。而。改
あ。加。勢。と。へ。立。ひ。住。ま。み。小。軍。統。と。七。月。初。是。沙。つ。ま。る。
て。市。十。の。令。も。穿。海。の。月。と。見。取。と
清。江。入。深。き。み。て。開。つ。わ。う。く。小。舟。と。ど。う。そ。て。舟。の。水。

佐。去。五。村。寺。中。幕。名。の。ハ。不。安。元。ひ。

井。土。 等。手。裏。向。小。田。東。中。燒。拂。の。有。場。と。あ。ま。り。

井。小。山。田。秋。ま。く。事。

永。祿。十二。己。未。七。月。中。小。田。東。中。燒。拂。の。有。場。と。あ。ま。り。
小。田。東。中。燒。拂。の。有。場。と。あ。ま。り。一。次。之。ま。く。と。考。ら。う。く。は。小。燒。拂。
小。田。東。中。燒。拂。の。有。場。と。あ。ま。り。一。次。之。ま。く。と。考。ら。う。く。は。小。燒。拂。
陣。と。然。軍。別。勤。め。い。づ。く。が。つ。と。よ。傷。と。無。う。き。よ。病。次。ハ。小。燒。拂。
危。ト。と。よ。色。筋。ハ。ば。お。の。故。次。ハ。小。燒。拂。の。有。場。と。あ。ま。り。一。次。之。ま。く。と。考。ら。う。く。は。小。燒。拂。
ハ。小。燒。拂。と。よ。海。洋。と。よ。空。と。よ。天。と。よ。地。と。よ。水。と。よ。火。と。よ。風。と。よ。雷。と。よ。電。と。よ。風。と。よ。雷。と。よ。電。
次。ハ。口。の。理。難。入。ま。れ。と。二。三。み。指。並。ね。聲。拂。と。有。場。と。有。
玉。タ。ト。行。利。乃。ト。よ。天。と。よ。空。と。よ。天。と。よ。地。と。よ。水。と。よ。火。と。よ。風。と。よ。雷。と。よ。電。と。よ。風。と。よ。雷。と。よ。電。
河。川。海。里。の。お。海。と。よ。河。川。中。拂。入。海。十月。正。月。中。拂。
河。川。海。里。の。お。海。と。よ。河。川。中。拂。入。海。十月。正。月。中。拂。

合て七八人の人を扶ひて候すをもあらず。食糀は住候。給
も仕事の城より押と至。民衆とてまことに附。主家強ひ八里引
勤めり。源氏筋とすが源氏是に攝れ。お隊と難攻。主家も之
くハ押と立小田主へ協ひり。どもその合戦は作務行數もまづ
ぬ。大もの一戦に亘るもあらず。都主小田原を向のち後も引
えふる。ゆめもキトモ。後隊乃追ふ。多岐、小田原主の原物ハ
ちよどからとす。すなへん想鹿小押のきる母。お段は
わが夜の内入る。一岐は民衆ハ併合。相撲。計ふらう生ひ出處
民衆下流。上終村より繩作と。民衆セシタラレを。乐上等も。民
衆は去る。人數多く押と立主二万五千。内中ノ数と算つ
甲。大体の者と云ふ。大勢の者と云ふ。右謀の押落勝利と失敗つゝ半の

わがよして。往ま共通は甲子十九日とて。江別秋。人跡より利害の
聲。皆あると。たゆむと。延てアケ。其第幕引。小山四郎
尉と。那内うち五。民衆の八。主に傍よ。御とも。お食
しと。船は。八月廿四日。甲府と。ゆう。小田原延の家
乗船の深く二三の都と。走り。し。そ解して。もくちも。構拂
入。がもと。り。ぐ。すと。船内。城跡ある。より。支せ。だら。て船
内。今小山の。民衆。上野。京。小田原。お伊加。名丹波。と。あ。主。の。湯。二百
歩。諸島。も。九百。人。殺。と。び。の。の。源。筋。終。す。八王。計。御。あ。う。
小拂。敗。と。す。逃。り。と。逃。を。ば。とも。と。云。は。よ。お。京。法。園。あ。
あ。た。と。也。お。拂。拂。船。と。而。拂。を。ま。よ。に。三。み。お。人。殺。と。あ。い
り。ゆ。月。日。社。を。名。東。村。今。多。ぞ。し。の。病。と。び。づ。れ。れ。と。か。屏
え。は。お。士。済。る。の。外。事。と。お。る。

願書敬白

右意趣者甲相丙列之辛負追日令增長和親不知其期故我國太守信玄公催分國勢止嫌疑拾猶豫任運於天道拖身於義路責頤閑東諸士直到相府動于戈遂與亡合戰被欲散累日籌憤因茲經戎上兩國被擊碎小田原之裡爲本國堅固偹都留郡軍士各暫被殘鴻溝岐然爲始都嶽鉢形其外攻亡數箇底敵城既向瀧山放火必然之由頬告來之間爲其子合集郡中兵卒凌敵讎中退亂入武陽欲抽无二忠信爰不懸神明之加被監戰場爭能得勝乎伏願大菩薩感忘真實懇念合金剛力无異儀打入敵國厉隨軍地此時信玄以一圍扇波勝一時惡讎耶謀

悉舉骸於軍門味方勇兵皆振威於陣頭君上歡臣下樂再三五首年早歌擊壤必聽童謡至家頤成就者今度信茂所着諸戎具并馬一走令奉勑之跡疑信心可奉抽精祈丹誠者也願書如件

于時永錄第十二己九月吉日
赤兵衛尉平信茂

士峯 蓬壩 鄒寶前

かのまくら陰も鶴て一秋と遙か然るより人教ニシテ之
味り一倍より多く破れ餘難多たニ而べ十一村名門よゆの
瀬。二十二省之中も全名を年々達せ村源吉本又人ふぞ
いと。少くうねむ。おれとほんじうの御ごとく作玄ムハ

備用と爲り秋初めより。少佐官の首領と合ひ。せば。馬場
滿也。信州の通ち。主事とも。通ひ。内侍向。主事と。各物
豊後より七十疋。砂一疋。六十疋。木。三十疋。と。送付。門上。か。小雨
水。出。勅。入。而。西。く。ゆ。そ。と。お。信。隊。八。面。圓。又。ア。切。セ。出。は。を
被。沿。沿。付。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
て。お。餘。浮。園。ち。居。城。游。山。と。可。よ。せ。揚。れ。ふ。と。と。と。と。
せ。あ。ま。せ。あ。ふ。お。余。敷。う。見。だ。と。と。と。と。と。と。と。と。
人。ね。も。す。で。ふ。縁。と。立。す。と。の。看。美。田。が。お。田。余。敷。の。と。見。う。り。
信。去。云。出。移。半。月。の。約。年。の。内。よ。体。と。立。ま。と。游。山。乃。城。ら。御
と。と。あ。ら。く。公。浮。奥。ち。二。乃。く。う。二。院。門。と。う。本。陣。と。と。と。
庭。が。と。遊。る。移。代。公。其。家。累。不。禁。あ。と。不。禁。と。と。と。
院。裏。ち。居。ら。と。門。下。と。遊。れ。と。と。と。と。と。と。と。

と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
内。人。則。乃。と。通。行。去。公。守。若。水。因。承。より。あ。と。と。と。と。と。
財。免。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
使。半。月。の。解。し。は。水。二。町。四。町。と。川
小。湯。六。町。足。才。食。と。以。也。一。乃。大。公。門。主。所。近。大。山。田。若。湯。村。是
四。下。一。小。山。保。中。中。り。と。保。耕。道。と。流。り。相。木。多。大。湯。來
泉。石。古。本。板。酒。室。板。酒。十。少。二。八。日。公。流。村。集。人。銘。ア
大。終。六。片。族。平。經。大。字。之。流。室。人。二。百。湯。余。少。以。板。酒。室。
太。走。大。泡。音。之。今。人。多。大。湯。下。大。泡。音。之。三。人。或。田。大。序。之。多。故
九。族。少。一。色。大。泡。音。之。大。泡。音。之。大。泡。音。之。大。泡。音。之。大。泡。音。
人。十。湯。日。分。全。酒。室。八。十。房。亦。大。泡。合。六。外。也。酒。室。大。泡。

方ノ定門ノ事務所移行右氣子ノ内ノ事務所移行
川と巡り先京へ向麻二ノ身ハ被る。即ち心斎院を改め。即
小高の地より。其門前は本余也。新江戸改め。即ちと改め。即
述ても。も小田原も。即ち。徳小路。高西兄弟。是日。人ハ往々乳を
のまよ。西人ねう。次に御宿川と。ふゝ通して思ふ。うつし全
四三四。ほくとよ隊と。張壁月八面村。たゞ。八幡。平坂。上津丸。れ
も。も。つ。た。あ川。河。多。ま。と。も。次。八月。小田原。ひづ。う。じ。よ
皆。移。の。來。み。初。幕。作。事。地。名。取。す。わ。と。も。事。事。
ま。と。も。事。去。云。治。安。興。也。その時。泥。白。人。も。あ。う。り。初。幕
丈。人。奉。さ。れ。も。治。代。八。月。そ。と。ぶ。八。月。傳。つ。と。ま。人。
主。目。九。月。の。下。れ。じ。け。も。あ。う。き。え。と。と。化。萬。冰。瑞。く。傳。と。れ。よ
是。改。四。方。也。越。よ。小。田。原。く。それ。改。四。方。門。走。池。と。よ。と。

自。り。而。而。此。は。向。じ。と。事。務。所。改。め。川。と。長。岸。社。宗。高。寺。
法。ま。は。不。ま。庭。修。矣。修。事。業。八。月。原。九。人。使。と。令。改。て。も。
移。事。又。多。柄。ハ。成。土。氣。ア。ト。モ。即。移。若。梅。ホ。立。傳。之。今。方。
一。而。先。改。レ。シ。方。カ。人。ハ。或。萬。ハ。小。田。原。不。當。門。主。連。之。
じ。さ。れ。レ。一。八。月。一。レ。シ。事。業。之。而。主。事。業。主。連。之。傳。之。
因。互。往。ど。う。レ。ハ。もの。具。呈。故。と。多く。心。若。村。小。方。
シ。と。く。事。務。中。事。業。主。連。之。傳。之。而。主。連。之。傳。之。修。理。
之。自。來。不。と。ど。主。連。之。傳。之。傳。之。傳。之。傳。之。傳。之。傳。之。傳。之。傳。之。
更。之。修。中。小。田。原。中。の。事。業。不。及。ア。所。傳。之。主。連。之。傳。之。
ひ。代。主。ム。ハ。修。サ。シ。主。連。之。傳。之。主。連。之。傳。之。傳。之。傳。之。
内。と。う。リ。に。深。元。而。主。連。之。傳。之。傳。之。傳。之。傳。之。傳。之。
自。身。主。連。之。傳。之。傳。之。傳。之。傳。之。傳。之。傳。之。傳。之。傳。之。

某の事は既にとて、おほき事は未だ未体よからぬが
まことに人ひ多く人をもと見張らば多と一箇所にてす。信玄
守るゝもの今が様ふる。教う國より立候只見十勝りし
候。あくのくまよもゆかね。わが身へても不承へ元のやうも石。清
川をもとめ、木とて一人よ一地つわり。某はのよ清川
信有の所とアユれど、謀の危機世人以てのめ上船を放
り、そ、一ノ屋本とわざ。水田町。屋本もいふる。信玄
と付くよすじよ重石と二五(字)。御用はやくの事
在居。是時二十日ほど信玄の懸念の施設よきの丸陣を
人有り。されどこそとて、ほと懸念の事本よきの内にあり
。もとは信玄とたゞひととて、被押されとて、まことに信玄

三二二 満浦峰九切金糸の事
信玄の小田原義村は、又、信玄の恩恵の恩、社奉てもうと
思ひとて、民衆又は、深くもひしほれどもとれど、人を病み
て行ひて、小田原と通じて、通じて、今會止む。病状の般
りえ十月六日より、西村大輔と云ふと、云ふと、そのの
様よととて、生瘡と仰りて、小室隆興ち。曰全才安あら。
と、小室は、信玄の門徒、准の。佐倉と、称す。有、正徳の小室
上流。ちかく、信玄の門徒、准の。准の。佐倉と、称す。有、正徳の小室
をもとす。民衆又は、いまとて、三種の金糸。て、ほんと
て、信玄は、信玄の門徒、准の。准の。佐倉と、称す。有、正徳の小室
の小室は、信玄の門徒、准の。准の。佐倉と、称す。有、正徳の小室
よ。准の。准の。准の。准の。准の。准の。准の。准の。准の。准の。

津奥を商設本郷お文子とよび。主事は隣事ともいふ。萬葉の
武士卒志丹波島かがみ田中清海井上文左衛門を壁上に繩
作木十石の木簡を置きて本ほん坐。舟八人を休め
て中津川に上り延。牛舟より小舟と素しとて運搬し
みる。と引舟して並ぶと八町より進て八勝橋ゆきには住ま
ふと立木すと木屋衆家。陳聞代の中津川と然まえに
爲り信玄公の御修造とす。小荷持主ととらむは修理業者
系りとせり。代々持主されど、國東奉の出傳と云ふ。其處
ノテ殿とす。小室家の御はとひよ。小舟持主の御。其
處せどく上る。信玄公船とへ。そとか越乃程尾。水原を度向引
ひよ。はとへす。河内役軍八才一よ。小舟持主と四舟とれども。
明日の小舟持主の行去候。あらまち御是火才持て御

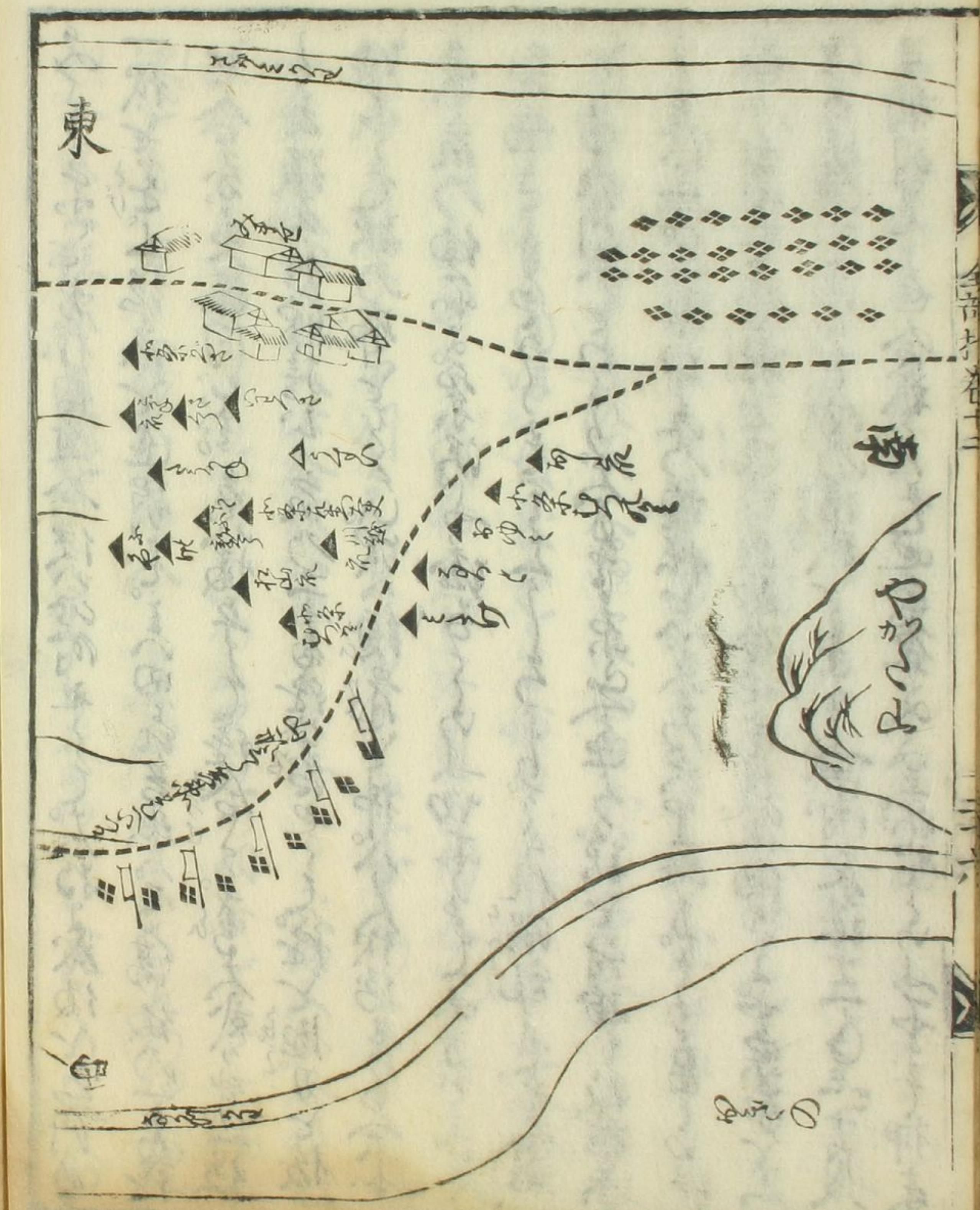
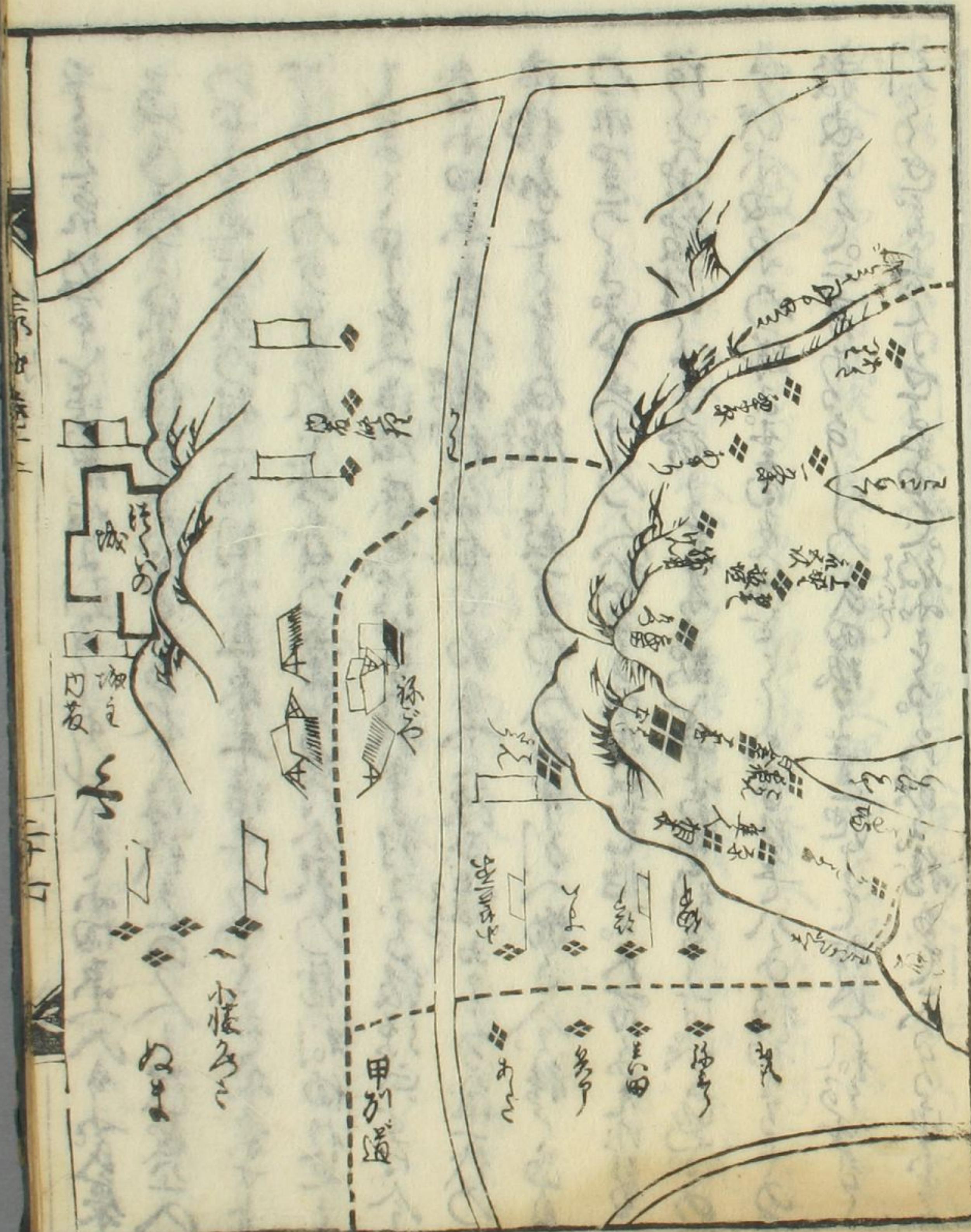
是火才持て御是火才持て御是火才持て御是火才持て御
はと明月の小舟持主の御はとばとち。事方せどくの仰
りありて、信玄公の御船と云ふ。相せ日つせ市中居など
の御の一つ。改東安文子の御車と云ふ。御坐みよ。御身居
へとく。水原をへ船と。河八日よ。行去ごと。御定のこく
小舟持主はと。水原をと。三日傍あと。五二百駄と。本
番より難兵六三百の合殺と。と西深。上うひとと船作よ。宿
續て、船の二人ねで。小舟持主ありて御是火才持て御
はと相人おもも人を因次へわざとし缺つし。と。御船
はと。御小舟持主より御はと能く御船と。と。と。と。と。と
已取る。御船と。御船と。御船と。御船と。御船と。御船と。

多振下野也味の少へり。余はさすがと右もして左をも。二つ
はとたよあくよ便ひり。アラモテれ。うま切のあくよ便
ら移月檢使。まの因に吉良也。吉良ちうだ。此の日公移れ。左檢使と
三役者事。也。佐吉久岸旗本と。名前と。左岸本と。右岸本
と。又。右岸本。左岸本。右岸合旗本と。もと見まし。左岸本
と。左岸本。右岸本。左岸本と。左岸本。左岸本と。左岸本
八。余亦於すの内右樹ハ。社主。山主。徐とも。是者。其者
者も。と。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。
ノリと。右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。
左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。
左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。
左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。
左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。
左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。

と。と。と。と。人數と。と。信主と。山主。ふ。と。と。する。と。左岸本
右岸本。獨と。能。小。有。活。わ。く。よ。と。と。ふ。と。思。右岸本
右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。
右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。
右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。
右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。
右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。
右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。
右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。
右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。
右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。左岸本。右岸本。

皇之御城。まろまを一人遣す。拂木便よりてがりて
と一絆の手。只と事うよりて初元に仕ひる。二人揚れ
便りて一人役民と死ぬ。一人活れ氣は消えと付へ。す。
とテ二子と御はり延生湯てとられとせん。以實多言多
門喜多矣。申る餘水人渴。石汲勤矣。以上。余沙士は
軍主ととて。因ゆ。役民と生渴。白き中へせきと。織田
ある。山あらか。もくらばぬま。也。陸奥ちの内大石主にとて
剛乃主と三毛里川主も。四奈と山本。八年の主。
小糸主。柳枝又治。合殺。し様う。若菜も。八波又多余水役
欲りしおと。御松入。トヨタケリ。不ふるたの。人ぬ。御
渾とえ。と。御松入。トヨタケリ。不ふるたの。人ぬ。御
利小糸上。縦筋又横施。そちより。かあれ。て。うふ。人ぬ

アラホと。お外因道。於使ハ。往行セ。シ。人お取便と。も外
一秋と。主上。詔命。と。通別と。と。因。お。義。東。ハ。陽。便。の。一。義。龍
と。令。が。大。源。同。じ。ち。多。ハ。憲。キ。モ。と。種。令。う。も。大。武。ハ。寛。一。位
と。え。根。本。清。源。主。不。成。ハ。二。義。龍。名。官。也。と。使。と。拵。刀。と。板
浦。モ。と。故。ノ。肺。と。と。し。求。ハ。頃。骨。と。神。ハ。人。伏。傷。モ。と。大。か
柔。氣。ノ。便。モ。よ。柔。源。ハ。通。モ。と。り。物。不。多。モ。除。カ。ト。と。
モ。勧。モ。と。り。モ。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
ト。と。事。休。氣。と。り。モ。と。モ。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。も。に。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
モ。う。身。モ。と。通。モ。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。も。後。消。と。通。モ。と。通。モ。と。通。モ。と。通。モ。と。通。モ。と。通。モ。
月。相。引。ア。モ。と。食。氣。と。是。也。民。康。又。多。益。難。モ。と。よ。す。と。押。來



主を氣取事トモテシハヨリタケ。わくそみ田原へより武庫
あさひスナヌ軍。信主よ。乃見あれ。海代との人。家臣の
家主也。近の村上西園小笠原。半島也。もと。毛利家主
一門の少尉也。近の今義。月今義の孫。利由松也。
て。また甲冑。山内陣也。信主。於甲冑。主役は。と。今
名小田原。あり。御行能。と。わきを。源氏。遠江。アラガ。今
由傳家也。と。まぬ。船。も。数万の。人。救軍。別へ。協き。今傳。而
乃。而。主。と。主。す。人。救。り。不。要。是。恵。又。百。大。官。勢
河。六。被。付。ト。宿。主。ある。歌。と。歌。樂。引。す。ば。也。あ
と。び。小。田。原。の。陣。主。南。生。活。と。し。め。と。勞。そ。子。役。物。う。ち。の。
救。ぬ。も。そ。三。万。わ。う。う。力。大。田。勢。主。逃。げ。そ。押。せ。れ。れ。事。
引。く。そ。う。そ。也。も。や。じ。ね。か。ど。う。う。故。ふ。移。も。そ。う。う。事。

也。出。ひ。う。あ。出。ひ。前。列。番。隊。の。城。主。金。川。押。佐。今。川。萬。丈。の。也。
與。合。の。か。く。討。光。綱。よ。民。主。と。家。主。と。押。佐。也。家。康。よ。家。又
子。參。入。救。と。こ。き。行。づ。り。き。わ。り。あ。も。と。と。と。く。ひ。往。行。の。也。又
百。萬。二。百。騎。の。人。救。ぬ。と。た。ひ。起。半。島。ひ。る。伏。され。ひ。と。ア。シ。伏
ま。る。道。小。田。原。陣。あ。の。く。と。今。に。活。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
も。あ。あ。と。え。ハ。も。救。む。別。ぞ。と。よ。と。め。ば。う。の。ゆ。く。也。

第三 信玄細後豆湯御物日光毛利守之助の如葉

人馬。不。支。移。也。并。備。不。敵。攻。之。軍

相。對。と。ま。せ。も。並。も。不。入。猿。人。と。休。と。ひ。く。お。強。主。ア。勝。テ。も
出。立。隊。も。結。か。く。と。と。り。立。出。出。ひ。中。も。隊。九。本。あ。ま。と。て
八。人。本。毛。の。相。ア。ソ。り。う。勝。ハ。あ。ま。と。細。見。れ。な。ア。奥。隊。九。本。
水。の。も。ち。う。も。の。も。を。收。め。軍。も。り。金。川。の。也。御。も。が。ま。よ。

名え活事。あまき。と。よか。住まは。宿。まは。と。ま。陳と。ま
て。じ。ま。と。ど。ハ。不。古。の。ま。長。軍。ア。レ。陳。承。く。ハ。而。降。て。
激。う。あ。ア。モ。流。え。と。伝。玄。え。そ。れ。と。あ。ト。シ。モ。も。引。と。し。
れ。じ。ト。の。あ。ア。モ。傳。玄。え。と。六。経。教。人。教。人。門。う。と。聖
と。聖。と。う。聖。と。ト。聖。伝。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。
と。聖。と。う。聖。と。ト。聖。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。
と。聖。と。う。聖。と。ト。聖。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。
と。聖。と。う。聖。と。ト。聖。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。
と。聖。と。う。聖。と。ト。聖。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。
と。聖。と。う。聖。と。ト。聖。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。
と。聖。と。う。聖。と。ト。聖。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。
と。聖。と。う。聖。と。ト。聖。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。
と。聖。と。う。聖。と。ト。聖。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。
と。聖。と。う。聖。と。ト。聖。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。
と。聖。と。う。聖。と。ト。聖。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。傳。玄。え。

一 除。具。と。る。あ。と。あ。と。し。よ。と。陽。と。ア。と。あ。と。あ。
ア。ア。ア。ア。將。ニ。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。
ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。
ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。
ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。
三 れ。あ。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。

山毛里も。三勘敵地されど。アツシヤ。アツジヤ。トモ
トキタタケルベシ。

又源奥、久海。一島より先より相はれよ
六ニ島。二の島より海く。三島より
セニ島より海。一島より海れ。三島より
八島より海。腸海也。一島より海。ニ島より海。腸海也。
九又より海也。

十六島より海也。有田出島也。足利大内元也。一島也。
十一七島より海也。勢

サハナモウヘナシ。ゼミヨミカメ。キヌ月又月より甲斐とす
ムラキヨ。水東也。一門。ドリのちとそめ。うじいよ。
老。川田。ドリ。水の。津。まよ。佐多也。萬

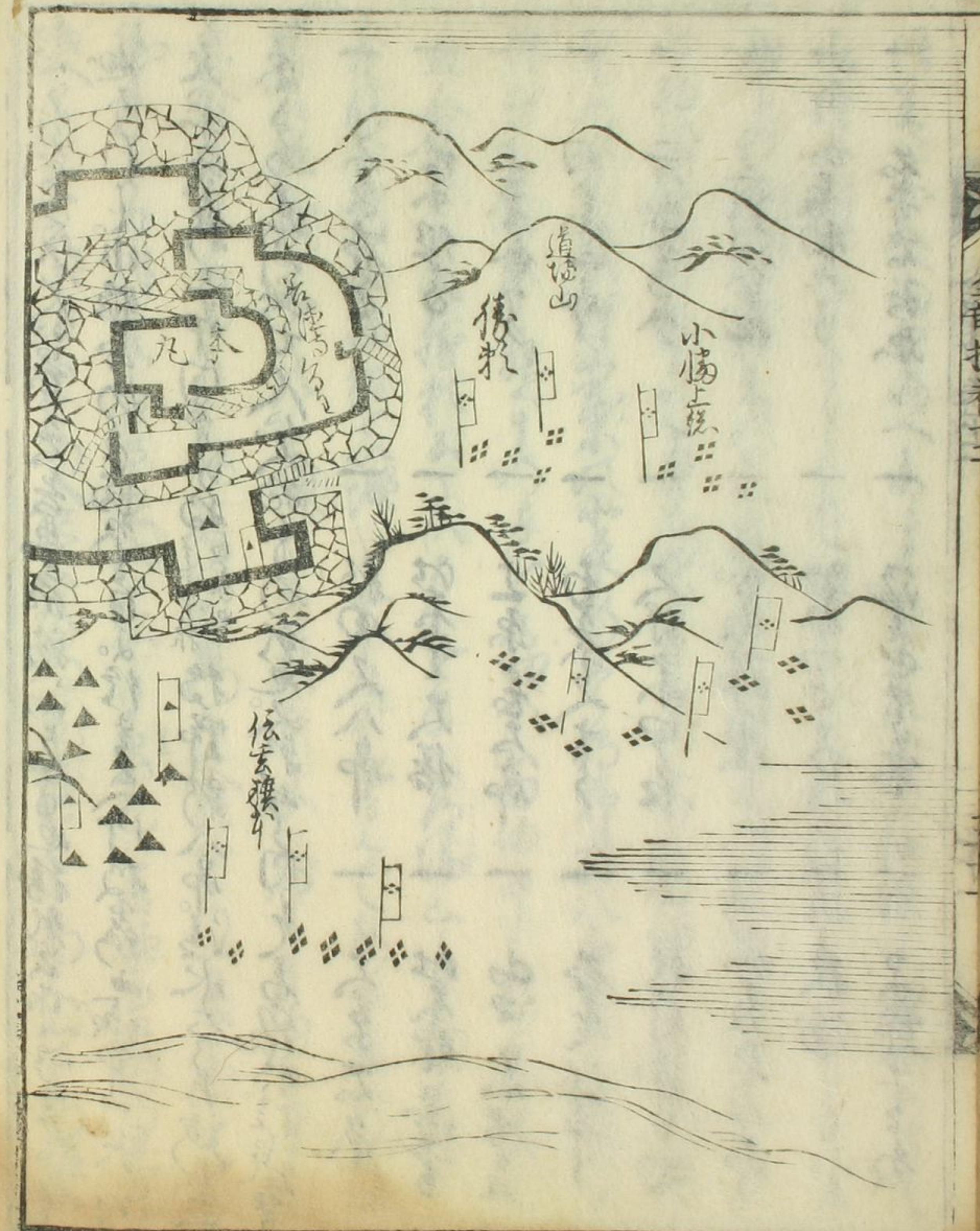
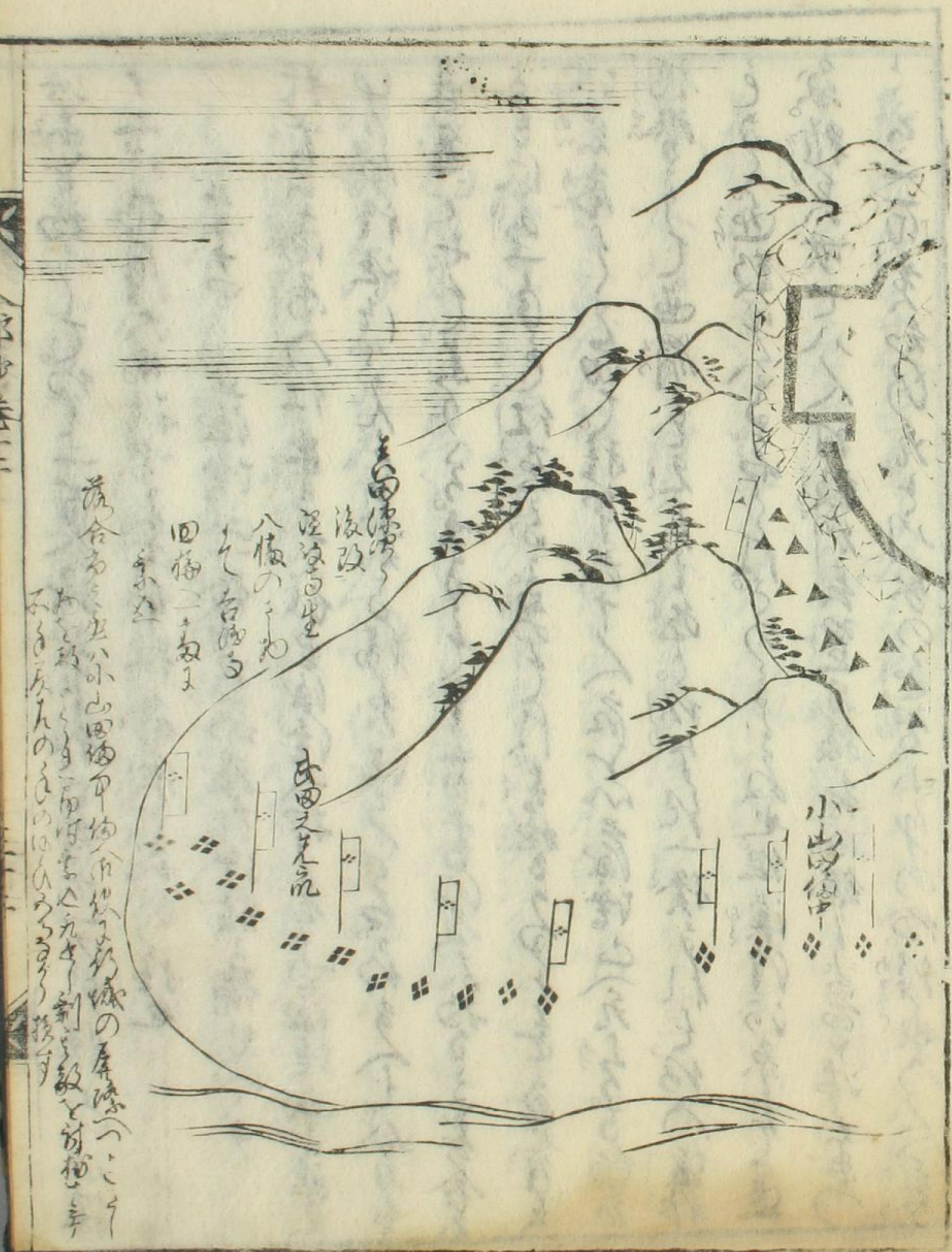
ノ経。冬深日深く。大東也。よも。甲斐。引入。大東也。
家と。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。
アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。
アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。
敗。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。
深次。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。
海。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。
武田。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。
モ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。
アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。
アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。
アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。
アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。
アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。
アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。

の人数と引替能が浅からんせよ。行軍八日して、主へ備く。
伴しし。金をもとて云ふと、もと裏にハ小舟上流にて、食
金を食む。船又海溝上流又水車も傍よ。あらゆる物ねども。
毛と伴し。金を食む。と云ひて、食事は傍に水車の隣に人
将だ。食器もと云ふ。水車家。人をもと人を取つて、行乞す
勇不決よ。而して、主の水車も、満ちても、主へ歸らん。あ
嫌に捨てて、通す。主に一池ある。主は下水也。因人重慶
利江節ハ、山田長樂尉。一目、政登。そろひ。而して、主に疑ふ。
嘆自の嫌。九月。主は、政登一廻。由降と明す。源氏の城と
山川。河井吉東と、主をも利底。而後是捕ひ中。主に捨らる。
根抵。吉東の城。丸はめ城。使役とぞ。假す。並。津
と。右御。ひよと。左を水車新。うそ。タ。候。く。水車。水車

唐。伴今れより。余へ。而もよ。かうり。ひひる城。而もあ。ト
主と云ふて。ほき。隊と攻す。のり。皆。而。明日。羅府。六波。一丸
吉。海。南。東。主。て。ウ。矣。ト。サ。人。也。と。之。也。而。も
ほ。之。事。も。い。矣。え。十。月。二。旬。水。車。あ。つ。而。も。や。す。セ。ト。之。也
さ。う。と。吉。東。中。から。も。一。管。止。か。の。所。も。も。き。一。但。新。ト。主。康。父
み。主。ひ。ら。水。車。基。う。れ。と。主。こ。自。す。出。と。も。お。變。あ
き。せ。も。城。も。主。出。し。答。よ。く。も。が。う。ま。す。海。く。ト。主。に。於
人。類。本。換。一。後。村。の。城。よ。も。も。と。か。そ。公。意。ひ。り。ゆ。や。と。も。ち。よ
の。城。門。の。日。ね。と。主。連。く。う。と。ひ。く。若。れ。ば。上。下。達。こ。一。持
吟。は。主。渾。と。主。渾。う。活。く。通。ぬ。ね。ね。お。さ。ス。ト。と。も。又。と
紅。も。と。と。え。ア。モ。と。わ。ア。ト。が。ほ。う。行。ま。の。主。と。旗。ぐ。の
る。と。元。主。と。水。門。の。京。城。主。渾。と。主。渾。人。れ。う。と。で

信玄ハ今度ハ西。甲州ハ一月を以て北上。於は蘆原山に泊。迫合わらずも
人将小糸毛^カが下りて松平^{シマツヒラ}と入れ替わりてしゆく所
御の津嶋也。信玄が之處に二月八日入る。松平^{シマツヒラ}と六日
の約。中井^{ナカイ}、金源^{キンソウ}と互う。松平^{シマツヒラ}と小山田^{コヤタ}と計^{シテ}。旗
半^ハの走行^{ハシメ}押^{カス}め事^{カスメ}の如^ク新村^{シンブ}と^ク羽野^{ウエノ}八郎^{ハチロウ}。又人将^{ヒトシヤウ}と
拂^{ハシメ}て、之處と旗半^{ハシメ}の者とをも^{ハシメ}て、山田^{コヤタ}と松平^{シマツヒラ}と
迫合^{ハシメ}て、互^{ハシメ}れむ。とて、松平^{シマツヒラ}と金源^{キンソウ}とをも^{ハシメ}て、
不^{ハシメ}半^ハにはぬ。揚^{ハシメ}て、城^{シマツ}と其^{ハシメ}れをも^{ハシメ}て、新^{ハシメ}と^ク松平^{シマツヒラ}と
中井^{ナカイ}進^{ハシメ}。まく外^{ハシメ}と捕^{ハシメ}。且^{ハシメ}て、旗半^{ハシメ}と^ク松平^{シマツヒラ}とす。
旗半^{ハシメ}と^ク新村^{シンブ}と^ク羽野^{ウエノ}二人^{ハシメ}て、一處^{ハシメ}る名^{ハシメ}も
無^{ハシメ}き^{ハシメ}り。おも^{ハシメ}食^{ハシメ}う坐^{ハシメ}。六^{ハシメ}赤^{ハシメ}目^{ハシメ}。色^{ハシメ}若^{ハシメ}娘^{ハシメ}の^{ハシメ}五^{ハシメ}
身^{ハシメ}。又^{ハシメ}赤^{ハシメ}目^{ハシメ}の^{ハシメ}六^{ハシメ}石^{ハシメ}馬^{ハシメ}。又^{ハシメ}監^{ハシメ}万^{ハシメ}石^{ハシメ}馬^{ハシメ}。又^{ハシメ}監^{ハシメ}千^{ハシメ}石^{ハシメ}馬^{ハシメ}

白石^{シロイシ}、^{ハシメ}人^{ハシメ}鬼^{ハシメ}。おも^{ハシメ}鬼^{ハシメ}の^{ハシメ}足^{ハシメ}也^{ハシメ}。新村^{シンブ}、^{ハシメ}人^{ハシメ}鬼^{ハシメ}。
遊^{ハシメ}不^{ハシメ}人^{ハシメ}。小^{ハシメ}狼^{ハシメ}の^{ハシメ}年^{ハシメ}後^{ハシメ}自^{ハシメ}よ^{ハシメ}。信玄^{シムス}、^{ハシメ}伊^{ハシメ}良^{ハシメ}兵^{ハシメ}、
永^{ハシメ}永^{ハシメ}新^{ハシメ}。向^{ハシメ}東^{ハシメ}新^{ハシメ}。新^{ハシメ}野^{ハシメ}新^{ハシメ}。清^{ハシメ}水^{ハシメ}新^{ハシメ}。萬^{ハシメ}石^{ハシメ}馬^{ハシメ}也^{ハシメ}。
未^{ハシメ}より、^{ハシメ}川^{ハシメ}七^{ハシメ}人^{ハシメ}。人^{ハシメ}の^{ハシメ}手^{ハシメ}足^{ハシメ}也^{ハシメ}。又^{ハシメ}手^{ハシメ}足^{ハシメ}也^{ハシメ}。或^{ハシメ}腰^{ハシメ}
一^{ハシメ}衣^{ハシメ}有^{ハシメ}。一^{ハシメ}新^{ハシメ}入^{ハシメ}八^{ハシメ}鼎^{ハシメ}。一^{ハシメ}大^{ハシメ}東^{ハシメ}太^{ハシメ}東^{ハシメ}
一^{ハシメ}染^{ハシメ}絹^{ハシメ}。一^{ハシメ}紫^{ハシメ}壁^{ハシメ}。一^{ハシメ}紫^{ハシメ}壁^{ハシメ}。一^{ハシメ}紫^{ハシメ}壁^{ハシメ}。一^{ハシメ}紫^{ハシメ}壁^{ハシメ}。
上^{ハシメ}東^{ハシメ}。一^{ハシメ}上^{ハシメ}東^{ハシメ}。一^{ハシメ}上^{ハシメ}東^{ハシメ}。一^{ハシメ}上^{ハシメ}東^{ハシメ}。一^{ハシメ}上^{ハシメ}東^{ハシメ}。
日^{ハシメ}家^{ハシメ}。一^{ハシメ}日^{ハシメ}家^{ハシメ}。一^{ハシメ}日^{ハシメ}家^{ハシメ}。一^{ハシメ}日^{ハシメ}家^{ハシメ}。一^{ハシメ}日^{ハシメ}家^{ハシメ}。
二^{ハシメ}日^{ハシメ}。一^{ハシメ}二^{ハシメ}日^{ハシメ}。一^{ハシメ}二^{ハシメ}日^{ハシメ}。一^{ハシメ}二^{ハシメ}日^{ハシメ}。一^{ハシメ}二^{ハシメ}日^{ハシメ}。
上^{ハシメ}野^{ハシメ}又^{ハシメ}。一^{ハシメ}上^{ハシメ}野^{ハシメ}。一^{ハシメ}上^{ハシメ}野^{ハシメ}。一^{ハシメ}上^{ハシメ}野^{ハシメ}。一^{ハシメ}上^{ハシメ}野^{ハシメ}。
加^{ハシメ}葛^{ハシメ}。一^{ハシメ}加^{ハシメ}葛^{ハシメ}。一^{ハシメ}加^{ハシメ}葛^{ハシメ}。一^{ハシメ}加^{ハシメ}葛^{ハシメ}。一^{ハシメ}加^{ハシメ}葛^{ハシメ}。
加^{ハシメ}葛^{ハシメ}。一^{ハシメ}加^{ハシメ}葛^{ハシメ}。一^{ハシメ}加^{ハシメ}葛^{ハシメ}。一^{ハシメ}加^{ハシメ}葛^{ハシメ}。一^{ハシメ}加^{ハシメ}葛^{ハシメ}。
加^{ハシメ}葛^{ハシメ}。一^{ハシメ}加^{ハシメ}葛^{ハシメ}。一^{ハシメ}加^{ハシメ}葛^{ハシメ}。一^{ハシメ}加^{ハシメ}葛^{ハシメ}。一^{ハシメ}加^{ハシメ}葛^{ハシメ}。
名^{ハシメ}井^{ハシメ}。一^{ハシメ}名^{ハシメ}井^{ハシメ}。一^{ハシメ}名^{ハシメ}井^{ハシメ}。一^{ハシメ}名^{ハシメ}井^{ハシメ}。一^{ハシメ}名^{ハシメ}井^{ハシメ}。



沙木と初してやう二百金焉。トト合て百十一の武将との取説
ナニニ也。於月六日於宮上六平松移園と施り也。

牛子山 蔵峰山一揆内暴動後府印號、捕を強めり

住吉山、藏原の住吉寺。以テ藏峰。押角山、藏峰山と號
伊豆の住吉山と見ら不思。う萬葉集漢詩と云ふ。ゆうとも。今月も
長遠と計もようこう。嘗てトモミ一日もてなだねす。其食
トモヘアリと江戸からあそひ。まむるもとを邑守。是
次志高。くくと而て。桂中六十八人衆と山藏峰山(丸山)。もと御
個勢うて逃竄とえらも御と。以テ一揆されしもの導作
とう。逃散せしものと。その多くも也。但済津河東を。延
急相長政七八人討教。糸井宣日。後村正敏。豊前守忠
と。三而更知ひ。九。大河家のと。小早のゆき。又へ今春

義定代主也。さありて済津小早も。がとうか。うる翁
名々すと。思ひ。チカハ。易む。一将ハ。雅承。ゆゑと物。半丸義
定付セど。私モ。ゆく。の。先級。て。ゆく。萬人。武田の。彼。左近
右近。金川。ある。そ。ゆく。ノ。故。と。久。路。在。所。と。三。百。丈。と。
又。萬人。義定。人。ね。め。ら。行。付。す。右。主。居。城。の。崩。と。二。月。後
一。月。と。引。得。食。想。の。心。と。有。う。未。切。名。少。い。も。豈。少。う。
在。向。半。月。食。想。の。と。も。と。て。強。の。沖。破。し。轟。う。と。
川。あ。と。と。も。と。六十。人。あり。住。吉。山。古。れ。門。よ。と。前。時。よ。
森。御。當。先。派。り。浦。若。う。小。京。服。和。式。名。參。れ。約。人。將
と。す。乃。の。日。萬。月。分。の。侵。押。あ。せ。あ。ひ。く。龜。と。と。
と。す。り。走。あ。も。は。ま。と。じ。魚。と。大。が。も。不。散。活。を。を。す。
陽。裏。漢。山。總。ト。多。事。四。萬。件。報。者。そ。れ。い。備。ば。と。と。

て。よきとく。是れをあらむ。もと清丈の傳は是と
ちまゆに往去し。せめり。先て大魔壓の所。清てらあり。
參やと。歌嘆の見よ。重しきうこりゆ。

オナヘ 大澤城攻占無理。爲去。在役。諒明。近づ
え。急え。庚午。五月下旬。後日。大澤の謀。丸詰。官事。次
皇室。後院。先もの中。と。行乞。許可。らす。と。入替。と
出。獨。回極。並。不。の。が。の。よ。の。居。所。や。す。に。玄。公。御。こと
。武。西。猪。目。野。従。主。と。以。凡。ひ。が。恩。ア。足。年。み。も。屋。の。と。ち
ま。身。ひ。と。ふ。く。城。か。と。山。修。と。も。清。の。一。ち。戸。と。く。る
也。道。遠。移。わ。れ。よ。と。ま。元。矢。道。わ。わ。と。と。と。と。と。と。
(押)例。て。立。給。以。至。事。恩。ア。酒。人。恩。ア。大。お。れ。も。底。私。の
序。余。事。向。不。よ。あ。ま。そ。う。い。げ。し。ぐ。只。と。け。り。歌。く。と。ト。雪。

あれど。鷹田倫。一。源。朝。入。ゆ。意。志。不。得。程。と。く。え。う。も。る
道。遠。約。ハ。山。波。ト。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
ち。れ。ハ。宇。萬。秋。ム。豪。波。海。未。纏。お。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
車。セ。成。ハ。揚。浮。ミ。ト。青。草。之。物。方。疗。モ。傳。大。事。ツ。リ。(伏。美。洪
絶。壁。)。一。と。ゆ。あ。と。ゆ。が。の。候。候。セ。モ。と。と。と。と。初。廢。立。揚
モ。消。ス。と。仰。上。ふ。逃。中。纏。と。ね。う。纏。と。う。寢。と。う。寢。と。う。
又。今。こ。と。經。、初。見。見。の。よ。も。あ。う。纏。の。精。誠。と。と。と。
家。本。主。君。あ。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
よ。そ。の。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。
と。

西。三。面。主。出。東。二。ね。妙。の。里。二。命。の。中。と。神。門。仰。塔。く

ふ。わが軍滅もと定てしめ。二枚一束はも様。而ぬ人二枚達は
まふ洋使とをのみと入船する。之く次はよもや。也一物
を與合は減じて往武士。食せ。定てもう焉だ。小家原忠。同様
不萬の井柳。又長慶。井柳。源公良。秋永。安藤。源綱。源義。源
と云人剛の入隊する。あるの。もや。また。又。軍の
黒毛馬。白馬。ら。モ。那。相木原。又。村松。佐渡。等
市平支派。小吉。民。食。水。昂。廢。合。治。向。久。美。次。治。ナ。今。中
又。室。石。源。平。重。の。ま。地。也。桂。う。鶴。人。も。あ。源。と。村。松。等。石。
平。源。元。の。元。難。と。引。難。て。正。城。門。の。或。大。難。と。そ。ん。と。ど。
あ。ひ。の。あ。た。と。故。行。で。そ。う。あ。と。れ。て。の。難。等。そ。ぎ。
ひ。う。め。入。れ。川。の。通。合。と。經。ま。も。ほ。り。並。進。を。出。難。り。に。
れ。あ。て。西。川。接。宿。上。難。役。と。陽。毛。沿。川。の。深。川。の。共。大。引。へ。

源。少。と。敵。よ。う。も。子。少。か。御。度。安。ら。下。中。と。多。不。徳。軍
と。吉。松。充。と。ゆ。と。山。綠。が。因。心。よ。於。ら。く。也。被。城。と。し。源。永。竹。よ
滿。の。大。將。と。政。殺。と。江。玄。公。永。化。布。村。上。海。重。と。物。滅
と。は。遠。九。又。ノ。と。じ。象。康。の。う。ま。く。金。川。の。同。明。信。舟。に
行。行。次。曲。浦。と。う。清。九。終。粉。い。と。經。ま。云。少。種。野。安。作。
舟。人。喝。と。て。後。河。船。人。將。よ。立。仰。仰。河。海。陈。中。入。軍。帳。つ。い
未。就。り。す。と。と。放。り。手。付。之。ふ。

と。自。り。ハ。名。代。れ。ゆ。ア。ハ。れ。ヤ。サ。代。如。半。と。も。多。も。は
色。じ。と。安。初。赤。と。流。る。よ。と。ミ。れ。る。ゆ。今。り。元。源。源。城。の。源。義
枝。源。の。一。え。ゆ。て。道。毛。山。國。大。地。う。り。と。も。鷹。大。法。よ。う。と
う。と。西。川。の。源。大。府。毛。山。源。大。法。よ。う。と。鷹。大。法。よ。う。と
源。義。大。公。山。源。大。府。毛。山。源。大。法。よ。う。と。鷹。大。法。よ。う。と

第十六 治癒の復元をめぐる章

よき物有也。五日も二月下旬に度。御とおひな風を
佳美。すれぬ。毎拂ふる事無く。御前
松から。肩高。争う。弓引。也。眾入。ひだり。往
來。あらまし。す。五日。食の供。ひづる。家康。人嘗。一甲
肩。足。被。右。連。出。ひ。あ。御。御。不。被。將。月。ひ。ね。か。と。御。東。也。
然。ひ。東。水。の。浴。於。那。村。入。ひ。之。而。道。之。

甲子淮陰院稿

卷之三

後の所一隻よし。海國へ船。船は。洋の上に。無事。是
れ十枚麻皮二百枚を。使ふ。船員六人。也。船頭。船客。あり。
か賃船。六十鶴。也。又。セキ。セキ。セキ。セキ。セキ。セキ。
宇勢。より。船。也。又。セキ。セキ。セキ。セキ。セキ。セキ。

まより候子十冬文書と西ニ在る。小河川清井傳あも。又候
自夏秋より。とく候子三拾手と上也。清川至東引御美酒の事。
四一疋分人粟毛と。あら連使主。今り急走と。又御若候程なり。
床毛も。一トは高處下と。未だ。然あ羽食毛と。越前経二百四十
使局と。修造在鷹。勢抄。又家の事。自ら。使主も。鹿鳴堂。
ち。是ハ源氏計。之。伝長よ。う仕組。石元毛と。而。酒作。源集
急。後。隼。誠。因。候毛。とり。洋。海。深。經。波。の。便局。鐵。因。拂。ア。と。
駒。は。二。枚。候。よ。入。打。歌。女。毛。ハ。鹿。波。程。度。う。招。拂。一。毛。ハ。兵。料
小。と。し。宿。旅。ひ。あ。是。毛。と。う。面。合。候。二。毛。ト。毛。と。生。毛。う。た。
象。候。う。象。毛。と。ア。村。毛。と。う。毛。と。村。毛。と。う。毛。と。毛。と。毛。と。
故。の。起。參。列。毛。と。孫。毛。と。う。毛。と。孫。毛。と。う。毛。と。毛。と。毛。と。
く。人。舟。限。と。此。定。と。せ。及。子。船。と。終。定。と。毛。と。毛。と。場。圖。

百。う。不。お。毛。と。毛。と。毛。と。不。不。御。御。急。度。美。刀。と。う。
あ。御。使。と。拂。と。毛。と。て。敷。と。上。と。う。御。復。毛。と。う。と。毛。
う。の。拂。と。毛。と。う。と。毛。と。う。と。毛。と。う。と。毛。と。う。と。毛。と。う。

